



第39期 報告書

2006年4月1日～2007年3月31日

To Our Stakeholders ①

アップデート ④

特集—WBSの舞台裏— ⑦

トピックス ⑨

2007年3月期決算のご報告 ⑪

会社情報 ⑮

株式情報 ⑰

ホームページのご案内／株主メモ ⑱



代表取締役会長
菅谷 定彦

代表取締役社長
島田 昌幸

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第39期報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心から御礼申し上げます。

当社グループの2006年度連結決算は、売上高は1,240億6,900万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は44億4,600万円（同37.3%減）、経常利益は47億9,700万円（同31.4%減）、当期純利益は24億4,000万円（同45.4%減）と増収減益となりました。売上高営業利益率は3.6%（同2.3ポイント減）となりました。

To Our Stakeholders

当年度は番組制作力の強化を掲げ、番組制作費を大幅に増加したため増収減益となりました。国際スポーツイベント、大型スポーツ特番、ゴールデンタイムのドラマ枠の復活、スペシャルドラマなど、いずれも意欲的に取り組みました。

その結果、視聴率はゴールデン・プライム・全日の3部門全てで上昇基調を維持し、ゴールデンタイムは8.4%（前年同期比0.2ポイント増）、プライムタイムは7.9%（同0.2ポイント増）で開局以来最高タイ、全日は3.8%（同0.1ポイント増）で開局以来最高と、NHKと他の民放キー局4社の視聴率がいずれも低下している中で、飛躍への一歩を踏み出すことができました。

2007年度につきましても、躊躇なく力強く、制作力強化の歩みを続けます。「規模は小さくとも最



良にして最強のキー局」であるために、全社目標の『ニーズを先取りする タイムテーブルの実現』へ全社一丸となって邁進し、数値目標の『ゴールデン10%、プライム9%、全日5%』を目指します。

コンテンツ制作力の強化は、現在の当社における最大の課題です。2007年度も経営資源を傾注することで減益予算になりますが、将来の成長への基礎を固めるという方針は、経営陣全員の固い決意です。

2007年度の配当につきましては、1株当たり年間30円を計画しております。

基礎固めは着実に進んでおり、2008年度から利益水準が向上し始め、2009年度には売上高営業利益率6.8%を確保し、営業利益が102億円に達することを目指しています。

放送倫理の向上と 番組チェック体制の強化について

他局における番組のねつ造に端を発した放送倫理の問題は、当社でも不適切な映像の使用が見つかる

など、放送業界全体の公共性と社会的責任を問う事態にまで発展しました。

公共の電波を預かる当社は、放送の公共性と報道機関としての信頼性を自覚しつつ、1964年の開局以来、国民福祉と文化の向上、視聴者への正確な情報伝達に貢献することを目指してきました。そして、国民の生活をより豊かにするために、感動・喜び・笑い・驚きを伝える良質な番組を制作し、放送することこそが当社が目指す「規模は小さくとも最良にして最強のキー局」の基盤です。

当社は視聴者並びに関係者の皆様の信頼を損ねたことを深く反省し、社員及び制作会社に対してこれまで以上に放送倫理の向上を徹底する一方、医療・健康・食品などを扱う番組についての番組チェック体制の強化などを柱とする再発防止策を策定し、即刻実行に移したほか、本年7月1日付で番組監査部を新設することを決定いたしました。

2006年度決算

売上高…………… 1,240億6,900万円
営業利益…………… 44億4,600万円
売上高営業利益率…………… 3.6%

視聴率

ゴールデンタイム…………… 8.4%
プライムタイム…………… 7.9%（開局以来最高タイ）
全日…………… 3.8%（開局以来最高）



2009年度目標

●売上高1,500億円 ●営業利益102億円
●売上高営業利益率6.8%

買収防衛策の導入について

当社の企業価値の向上と中長期的な株主共同の利益の確保を目指して、株主総会にて事前警告型の買収防衛策[※]の導入に関する議案をご承認いただきました。

良質で健全なコンテンツを継続的に視聴者にお届けするには、当社グループが有する人的資産とコンテンツ制作力が欠かせません。さらに、こうしたコンテンツのクオリティを向上させていくには、出演者や原作者、そして制作会社や広告主などの協力も必要です。

つまり、開局以来、長年にわたって培ってきた企業文化と外部の関係者との信頼関係こそが、「規模は小さくとも最良にして最強のキー局」を目指す当社の企業価値を生み出す源泉です。当社はこうした企業価値を生み出す源泉を理解しない、いわゆる「敵対的な買収者」への備えを整えることは、放送事業者としての公共的な使命を全うし、さらに株主共同の利益を確保、向上させるうえで不可欠な枠組みであると判断しました。

今後の事業運営

放送業界はかつてない変革期を迎えております。デジタル技術の革新や各種規制の緩和、通信事業者をはじめとする異業種との提携などにより、放送局のあり方が変わろうとしています。インターネットや携帯電話を通じ、音楽配信や動画配信などのサービスが次々と生まれ、利用者側がメディアやコンテンツを選ぶ際の選択肢は年々広がっています。

このような中で、当社グループは魅力的な番組を制作するとともに、あらゆる企業との戦略的なアライアンスを視野に入れ、新たなサービスの開発と番組のマルチユースを展開することで視聴者のニーズに応え、企業価値の向上に努めてまいります。

また、こうした変革期における当社グループの成長をより着実なものにするため、代表取締役二人体制を敷くことにしました。代表取締役会長は日本民間放送連盟での活動などを通じて放送業界全体の活性化に努めるほか、当社グループにおいては関係会社政策を統括します。一方、代表取締役社長はグループの中核である当社の事業運営に軸足を置き、代表取締役会長とともに当社グループの企業価値の向上に努めます。

今後の事業運営にご理解いただくとともに、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

2007年6月

代表取締役会長

菅谷定孝

代表取締役社長

島田昌幸

※ 買収防衛策の詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir/>) をご覧ください。



出沒!アド街ック天国
(毎週土曜日21時~)



忠臣蔵 瑤泉院の陰謀



李香蘭

Up Date..... 1

放送事業

放送収入のうちタイム収入は、ネット部門・ローカル部門・特番部門の3部門とも前年度を上回りました。特に「サッカー W杯」や「李香蘭」などの大型特番が寄与し、大きく売上を伸ばした結果、タイム収入全体では629億3,600万円、前年同期比4.0%増と過去最高を達成しました。一方、スポット収入は「フレンドシップ・プロジェクト」などの企画セールスを積極的に展開したものの、金融機関からの広告出稿が減少したことで280億8,800万円、前年同期比1.9%減となりました。タイム・スポット合計では910億2,400万円、前年同期比2.1%増と過去最高を記録しました。

BS収入は前年同期比6.6%増の19億3,800万円となりました。

国内番組販売は、「開運!なんでも鑑定団」、「田舎に泊まろう!」などの料金アップが功を奏し、45億9,900万円、前年同期比1.8%増となり、新記録を達成しました。以上の結果、放送事業の売上高は1,093億3,000万円、前年同期比3.8%の増収となりました。

費用面では、番組制作費を重点的に投下したこと等により、営業費用全体では1,056億9,300万円、前年同期比6.0%増、営業利益は36億3,700万円、前年同期比35.9%の減益となりました。

? What's TV

「タイム収入」

タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。系列局を通じてCMを放送するネット部門と、当社の放送エリア(1都6県)のみCMを放送するローカル部門に区分されます。

「スポット収入」

スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMなどのことです。CMの放送は当社の放送エリアのみに限られます。

「番組販売」

当社の番組を他の放送局に販売すること。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワークがカバーする地域外でも当社の番組は視聴されています。

「フレンドシップ・プロジェクト」

「友達」や「友情」のあり方を、CMを通じて訴えかけていくことを目的に、趣旨に賛同いただいた3社(富士急行(株)、読売新聞、(株)ロッテ(五十音順))による「みんなで仲良く手をつなごう=友情」をコンセプトにしたドラマ仕立てのコラボレーションCM「60秒の友情物語」を放送しました。



フィギュアスケート
JAPAN OPEN 2006



嬢王



ポケットモンスター ミュウと波導の勇者 ルカリオ
© Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
© Pokémon © 2006ピカチュウプロジェクト

Up Date..... 2 ライツ事業

イベント収入は、「フィギュアスケート JAPAN OPEN 2006」、「スターズ・オン・アイス」などのスケートイベントが好調だったこと及び「ポケモンジャングルツアーズ」等の大型イベントの開催により、24億4,500万円、前年同期比46.9%の増収となりました。

ソフトライツ収入では、アニメ番組「NARUTO」、「ケロロ軍曹」に係る国内外のマーチャンダイジングや海外販売で順調に売上を伸ばしました。また、「嬢王」、「2ndハウス」などのドラマ24シリーズのDVD販売が好調で、前年同期比を大きく上回りました。映画事業においては、「劇場版 ポケットモンスター2005」、「劇場版 NARUTO 2005」、

「韓流シネマ・フェスティバル2005」等が好調でしたが、前年同期における「クイール」のような大型作品が無かったため、前年同期比では減収となりました。音楽出版事業は堅調に推移しました。ソフトライツ収入全体としては140億2,800万円、前年同期比1.8%の増収となりました。

以上の結果、ライツ事業の売上高は前年同期比6.2%増の164億7,300万円となりましたが、不採算のイベントがあったことや、アニメ番組への制作出資及びIT関連事業への先行投資により費用が増加したこと、さらに、「クイール」の反動減もあり、営業利益は前年同期比34.0%減の11億1,600万円となりました。

? What's TV

「ライツ事業」

ソフトライツ部門

- ◎放送番組の周辺権利を利用した事業
放送番組のビデオ化や海外販売、玩具の商品化などを通じて収益を上げる事業
- ◎映画出資事業
映画への出資により、興行収入やビデオ化、放映権の販売などを通じて収益を上げる事業
- ◎音楽著作物等の管理
音楽著作物の企画、制作、管理に係る事業、保有する映像素材等の販売事業等

イベント部門

スポーツ競技や文化イベントの主催などにより収益を上げる事業



逃亡者おりん



元祖! でぶや
(毎週火曜日19時56分～)



Up Date..... 3

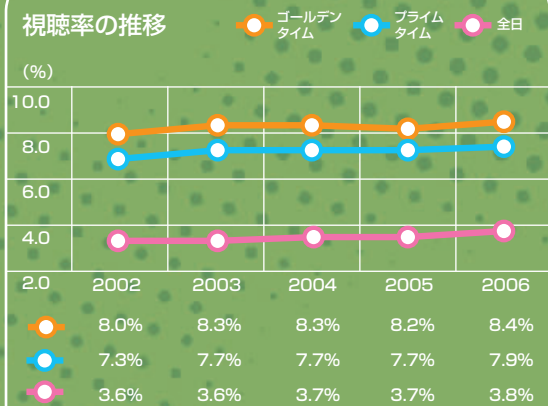
番組編成

当年度の部門別平均視聴率はゴールデン8.4% (前年同期比0.2ポイント増)、全日3.8% (前年同期比0.1ポイント増)、プライム7.9% (前年同期比0.2ポイント増)となりました。全日は、歴代最高、プライムは歴代最高タイと、スポット収入に大きく貢献しました。NHKと他の民放キー局4社の視聴率がいずれも前年同期を下回る中、当社だけが3部門そろって上昇する成果が得られました。また、シェア(占拠率)で見ると、3部門とも過去最高となりました。

ゴールデンに関しては、金曜20時の上期の「元祖! でぶや」が9.2%と前年同期と比して、3.1ポイント増となったほか、下期の「逃亡者おりん」も前年同期と比して、2.1ポイント増となりました。また、「開運! なんでも鑑定団」、「ポケットモンスター ダイヤモンド・パール」(下期)などが、前年同期と比して1ポイント以上の増となりました。一方、「アイシールド」、「BLEACH」、「豪腕! コーチング」などが、前年同期を下回りました。

特番では、「プロ野球日本シリーズ第4戦日本ハムVS中日」(16.1%)、「フィギュアスケートJAPAN OPEN 2006」(14.5%)、「忠臣蔵 瑤泉院の陰謀 3部」(14.5%)などが高視聴率を獲得しました。

視聴率の推移



高視聴率番組

| レギュラー番組 | 放送日 | 時間 | 視聴率 (%) |
|-----------------------------|-----------|--------|---------|
| 1 開運!なんでも鑑定団 | 06.10.31火 | 20:54~ | 16.6 |
| 2 水曜ミステリー9・刑事吉永誠一・涙の事件簿4 | 06.08.09水 | 21:00~ | 14.9 |
| 3 出沒!アド街ック天国・人情…路面電車の旅 世田谷線 | 07.03.03土 | 21:00~ | 14.4 |
| 4 いい旅・夢気分・さわやか秋の信州 | 06.09.06水 | 20:00~ | 13.9 |
| 5 日曜ビッグバラエティ・決定版! 巨大マグロ特集 | 06.12.24日 | 19:00~ | 13.5 |

| 特別番組 | 放送日 | 時間 | 視聴率 (%) |
|---|-----------|--------|---------|
| 1 2006プロ野球日本シリーズ・日本ハム×中日・第4戦 | 06.10.25水 | 18:00~ | 16.1 |
| 2 キノシタグループカップ フィギュアスケート JAPAN OPEN 2006 | 06.05.14日 | 20:00~ | 14.5 |
| 2 新春ワイド時代劇・忠臣蔵 瑤泉院の陰謀 3部 | 07.01.02火 | 20:55~ | 14.5 |
| 4 完成!ドリームハウス スペシャル | 06.07.09日 | 20:00~ | 14.4 |
| 5 元祖!大食い王決定戦 | 06.10.01日 | 20:00~ | 14.3 |

Special Feature



WBSの ワールド・ビジネスサテライト 舞台裏

経済報道番組として、多くのビジネスマンから高い評価を受けている「ワールド・ビジネスサテライト (WBS)」。絶えず動き続ける経済ニュースをいかに追いかけて、番組をお届けしているのか。WBSの裏側にスポットを当ててみました。

WBS

月～金 23:00～23:58 土 23:00～23:45

メインキャスター:小谷真生子 サブキャスター:大浜平太郎

1988年4月にスタートした経済報道番組のパイオニア。2007年は、「番組20周年プロジェクト」として、「ニッポン力」を切り口とした特集に注力。



番組プロデューサーよりひとこと

「正確かつ価値ある経済ニュースの制作に全力で取り組んでいます」

経済報道はテレビ東京の番組作りの大きな柱の一つとして多くの方から高い評価をいただいております。中でもWBSは、経済報道というジャンルのパイオニアとして視聴者から幅広い支持を集め、今年で番組開始から20年目を迎えました。

企業から日々寄せられる無数のリリースや記者それぞれのネットワークを活かした独自の情報群の中から、長年培ってきたノウハウと地道なリサーチ・検証により正確で価値ある経済ニュースを厳選して視聴者にお届けしています。

ニュースの取捨選択では、単なる商品情報としての面白さではなく経済の大きな流れの中での意義を重視します。また「トレンドたまご」に代表されるように、優れた技術やアイデアには企業の大小を問わず注目します。番組独自の調査報道を心がけ、ビジネスの現場で役に立つニュースをお届けできるよう全力で取り組んでいきます。



報道局 経済ニュースセンター
WBS プロデューサー

星野 剛

Time Schedule

1 情報収集

FAXやメールで寄せられるリリースなどの情報をもとに、約40人のスタッフがリサーチ・検証を行い、厳選していきます。

前日まで

情報収集・事前取材



10:00

現場取材



14:30

第1回編成会議



17:00

VTR構成



19:00

第2回編成会議



21:00

VTR編集



23:00

ON AIR



番組に寄せられるリリースのFAXやメールは、1日に百枚超。最新の情報が集まる情報基地です。



一次情報を鵜呑みにするのではなく、電話取材や統計資料などで、一つ一つ検証します。



リリースなどは業界ごとに整理し、個別のニュースを大きなトレンドに結びつけるデータベースに。

2 取材

リサーチ結果をもとに、デスクに報告・連絡・相談。重要度の高いニュースに絞り込まれた後、現場で取材が行われます。



写真はカーナビメーカーの新製品発表会。企業の担当者に質問し、より深い情報を探ります。



インタビューだけでなく、製品の現地テストによる評価・検証を行うことも心がけています。



オンエア当日の14時半から第1回編成会議で、その日のニュースの項目と内容をチェックします。

3 制作・編集

ニュース項目が決まったら、割り当てられた時間枠に、VTRを編集。緊急ニュースが飛び込めば、随時差し替えとなります。



18時頃から、ニュース担当者は、VTRやスタジオの構成をデスクに報告し、チェックを受けます。



19時から第2回編成会議で、番組全体の進行について、最終確認を行います。



第2回編成会議後、最終的な編集作業。編集用のブースで各スタッフ、最後の追い込みへ。

4 直前~オンエア

ニュース原稿の作成、ナレーションの録音、出演者との打ち合わせ、リハーサル…を経て、23時オンエア。番組終了後は反省会を行い、さらなる番組の向上を図っていきます。



直前リハーサル。カメラ・音声・映像について入念な動作確認を行い、23時の放映に備えます。

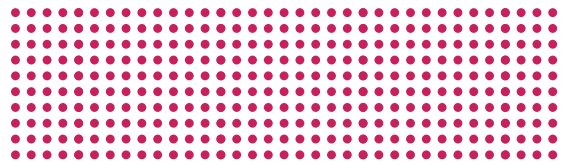


ニュース原稿の作成。もちろん最後は、デスクの確認を受けます。



23時、いよいよ本番。多くのスタッフが、突発的なニュースにも備え番組進行を見守っています。

Topics 2007



注目の国際大会！ 2007年のスポーツイベント中継

キノシタグループカップ フィギュアスケート ジャパンオープン2007

- ジャパンオープン／4月29日(日・祝)20:00～21:48
- カーニバルオンアイス／5月3日(木・祝)12:00～13:55

荒川静香のトリノ五輪金メダルをきっかけに巻き起こったフィギュアスケートブーム。本大会は“世界初の3地域対抗団体戦”として2006年にスタートしました。

日本、欧州、北米のトップスケーターが一堂に会する大会で、今年のチームジャパンには安藤美姫、浅田真央、高橋大輔などが参加。普段はしのぎを削る選手たちが、団体戦で一丸となって戦う姿が感動を呼びました。チームジャパンは去年に引き続き見事優勝。出場選手によるエキシビジョンのガラ公演も放送し、好評を博しました。



世界卓球2007

世界卓球選手権大会は、卓球の世界一決定戦として1926年に創設され、世界140以上の国と地域から約700人が参加する、権威ある大会です。



テレビ東京では、3年前から世界卓球の地上波独占放送をスタートしました。2005年(中国・上海)、2006年(ドイツ・ブレーメン)に続き、今年はクロアチア・ザグレブから5日間にわたり大会を中継。また、オリンピックイヤーの2008年には中国・広州、2009年には横浜での開催が決定しています。日本人選手は、エース・福原愛を筆頭に、今年、史上最年少で代表入りした石川佳純など若手も活躍しており、卓球への注目度はますます高まるばかり。世界の頂点を目指す熱き戦いから目が離せません!

柔道ワールドグランプリ2007

柔道ワールドグランプリ(嘉納治五郎杯 東京国際柔道大会 ワールドグランプリ)は、日本初の男女同時開催の国際大会として2007年12月に記念すべき第一回を迎えます。日本からは井上康生、鈴木桂治、谷亮子などトップ選手が、世界各国からもオリンピックメダリスト級の強豪選手が参加する予定で、レベルの高い試合が期待できます。

また、日本人選手にとってはオリンピックの選考大会でもあるため、北京オリンピックを来年に控えた今年は特に注目です。テレビ東京では、3日間にわたる熱戦をゴールデンタイムを中心に放送します。

分野別に3つのインターネットサイトをスタート

テレビ東京の番組でイメージの強い3つの分野、アニメ、旅グルメ、ゴルフの3ジャンルでeコマース事業を中心としたインターネットサイトを立ち上げました。アニメについては、一昨年度開設した「あにてれ」を拡大。また、旅・グルメについては「テレビ東京の台所虎ノ門市場」を立ち上げ、ゴルフについては(株)ゴルフダイジェスト・オンライン(以下GDO)との業務提携により「テレビ東京ゴルフオンライン」を立ち上げました。



テレビ東京アニメ公式サイト【あにてれ】
<http://www.tv-tokyo.co.jp/anime/>

「あにてれ」

事業拡大のために、現在テレビ東京ブロードバンド(株)と行っている3つのアニメモバイルサイトの再構築をはかり、モバイル部門の拡大を目指しています。動画・音楽配信は、コンテンツの充実による売上増に取り組んでいます。eコマースは(株)テレビ東京ダイレクトと協力して売上の拡大を目指しています。



テレビ東京の台所虎ノ門市場
<http://www.toranomon-ichiba.com/>

「テレビ東京の台所虎ノ門市場」

人気番組「いい旅夢気分」、「土曜スペシャル」から派生した商品を、インターネットを通じて販売します。番組で紹介される食品などの販売からスタートし、その関連・周辺商品販売に広げながら売上拡大を目指しています。連動番組は徐々に増加の予定です。



テレビ東京ゴルフオンライン
<http://txgolf.jp/>

「テレビ東京ゴルフオンライン」

本年4月の東建カップからサイトはスタート。サイトは、当社の連結対象会社としてGDOと設立したLLC(合同会社)が運営しています。eコマースを中心とした売上構成から、広告・検定事業に拡大を目指します。

インターネット連動番組からコンテンツが続々誕生

昨年度の「ブログの女王」(ブログと連動しコンテンツを開発)、「うえぶたま」(動画投稿サイトと連動しコンテンツを開発)に続き、今年度は(株)NTTドコモと連動し「うえぶたまww」(携帯と連動しコンテンツを開発)を開始。携帯小説大賞などを行い、様々なコンテンツを開発しています。



うえぶたまから、大人の折り紙「ターバン野口」が書籍化!



Financial Statements

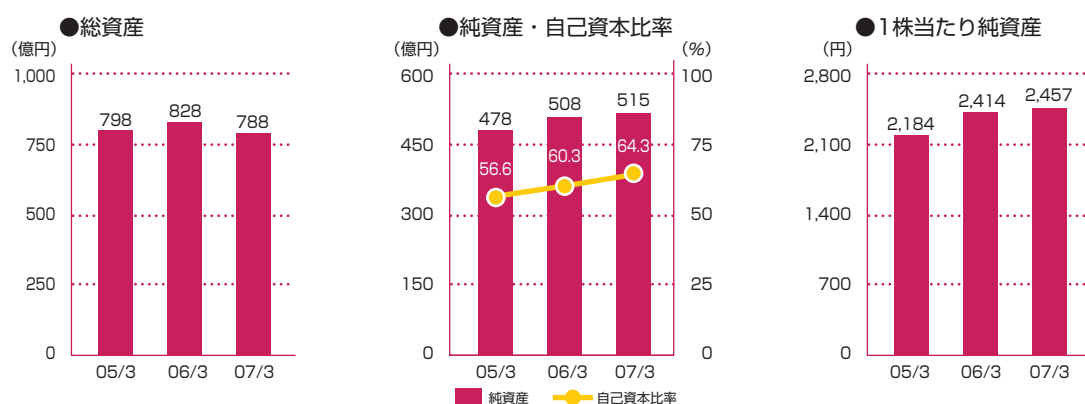
連結業績のご報告 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：百万円)

連結貸借対照表

| | 当期 | | 前期 | |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 2007年 3月31日現在 | 2006年 3月31日現在 | 2007年 3月31日現在 | 2006年 3月31日現在 |
| (資産の部) | | | | |
| 流動資産 | 45,441 | 47,374 | | |
| 現金及び預金 | 8,731 | 12,285 | | |
| 受取手形及び売掛金 | 22,592 | 21,804 | | |
| たな卸資産 | 12,406 | 11,919 | | |
| 繰延税金資産 | 632 | 559 | | |
| その他 | 1,088 | 815 | | |
| 貸倒引当金 | △8 | △9 | | |
| 固定資産 | 33,397 | 35,463 | | |
| 有形固定資産 | 16,347 | 16,122 | | |
| 建物及び構築物 | 7,517 | 7,688 | | |
| 機械装置及び運搬具 | 4,231 | 3,809 | | |
| 工具器具備品 | 247 | 299 | | |
| 土地 | 4,324 | 4,324 | | |
| 建設仮勘定 | 26 | 1 | | |
| 無形固定資産 | 1,074 | 1,433 | | |
| 投資その他の資産 | 15,975 | 17,907 | | |
| 投資有価証券 | 10,944 | 12,052 | | |
| 長期貸付金 | 141 | 150 | | |
| 繰延税金資産 | 1,425 | 1,219 | | |
| その他 | 3,471 | 4,508 | | |
| 投資損失引当金 | — | △13 | | |
| 貸倒引当金 | △7 | △10 | | |
| (負債の部) | | | | |
| 流動負債 | 23,234 | 26,356 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,323 | 4,912 | | |
| 短期借入金 | 1,200 | 200 | | |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 592 | 3,277 | | |
| 1年以内償還予定社債 | — | 3,900 | | |
| 未払費用 | 10,516 | 8,625 | | |
| 未払法人税等 | 1,071 | 426 | | |
| 役員賞与引当金 | 84 | — | | |
| 繰延税金負債 | 4 | 3 | | |
| その他 | 5,443 | 5,011 | | |
| 固定負債 | 4,075 | 5,643 | | |
| 長期借入金 | 185 | 777 | | |
| 退職給付引当金 | 2,746 | 3,098 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 552 | 431 | | |
| 長期未払金 | 529 | 1,271 | | |
| その他 | 61 | 64 | | |
| 負債合計 | 27,310 | 32,000 | | |
| (純資産の部) | | | | |
| 株主資本 | 49,487 | 47,930 | | |
| 資本金 | 8,910 | 8,910 | | |
| 資本剰余金 | 8,684 | 8,684 | | |
| 利益剰余金 | 31,893 | 30,336 | | |
| 自己株式 | △0 | △0 | | |
| 評価・換算差額等 | 1,237 | 2,041 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,233 | 2,039 | | |
| 為替換算調整勘定 | 3 | 1 | | |
| 少数株主持分 | 804 | 866 | | |
| 純資産合計 | 51,529 | 50,838 | | |
| 資産合計 | 78,839 | 82,838 | 負債純資産合計 | 78,839 |

(注) 前期の資本の部は「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)に合わせて純資産の部に組替表示しています。



(単位：百万円)

連結損益計算書

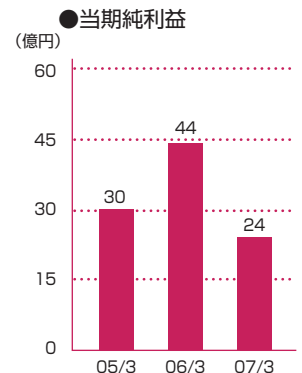
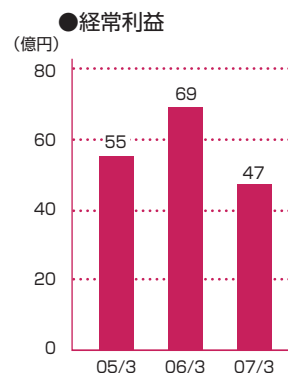
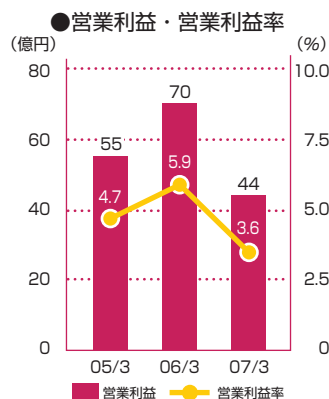
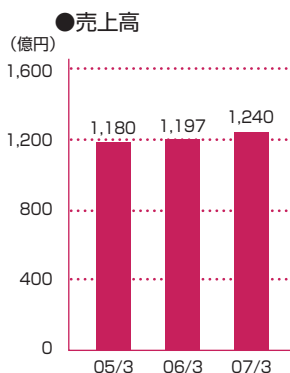
| | 当期 2006年4月1日～ 2007年3月31日 | 前期 2005年4月1日～ 2006年3月31日 |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 124,069 | 119,706 |
| 売上原価 | 87,548 | 80,516 |
| 売上総利益 | 36,520 | 39,190 |
| 販売費及び一般管理費 | 32,074 | 32,094 |
| 人件費 | 6,443 | 7,496 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 84 | — |
| 退職給付費用 | 297 | 201 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 168 | 141 |
| 代理店手数料 | 17,590 | 17,579 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1 |
| 貸借料 | 1,166 | 1,195 |
| 減価償却費 | 630 | 565 |
| その他 | 5,693 | 4,913 |
| 営業利益 | 4,446 | 7,095 |
| 営業外収益 | 466 | 423 |
| 受取利息 | 29 | 12 |
| 受取配当金 | 88 | 75 |
| 持分法による投資利益 | 34 | — |
| 賃貸料収入 | 88 | 92 |
| 字幕放送助成金 | 32 | 44 |
| 保険解約益 | — | 50 |
| その他 | 191 | 147 |
| 営業外費用 | 115 | 528 |
| 支払利息 | 70 | 196 |
| 為替差損 | 15 | 66 |
| 持分法による投資損失 | — | 0 |
| リース解約損 | — | 68 |
| その他 | 29 | 195 |
| 経常利益 | 4,797 | 6,990 |
| 特別利益 | 60 | 497 |
| 固定資産売却益 | 42 | — |
| ゴルフ会員権等売却益 | 14 | — |
| 貸倒引当金戻入益 | 3 | — |
| 持分変動益 | — | 497 |
| 特別損失 | 220 | — |
| 固定資産売却損 | 8 | — |
| 固定資産除却損 | 42 | — |
| 投資有価証券評価損 | 169 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,637 | 7,488 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,892 | 1,538 |
| 法人税等調整額 | 261 | 1,387 |
| 少数株主利益 | 43 | 94 |
| 当期純利益 | 2,440 | 4,468 |

連結貸借対照表の要旨

資産合計は現金及び預金が減少したことにより、前年同期比4.8%減の788億3,900万円となりました。負債合計は社債の償還を行ったことにより、前年同期比14.7%減の273億1,000万円となりました。純資産の部は表示方法の変更がありましたが、前年同期比1.4%増の515億2,900万円となり、自己資本比率は前年同期比4.0ポイント増の64.3%となりました。

連結損益計算書の要旨

売上高は、タイム収入やイベント収入、ソフト収入が増加したことにより、前年同期比3.6%増の1,240億6,900万円となりました。売上原価は、番組制作費の積極的な投入により、前年同期比8.7%増、一方、販売費及び一般管理費は前年同期比0.1%減となり、営業費用トータルでは前年同期比6.2%増の1,196億2,200万円となりました。この結果、営業利益は前年同期比37.3%減の44億4,600万円、経常利益は前年同期比31.4%減の47億9,700万円、当期純利益は前年同期比45.4%減の24億4,000万円となりました。



(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

| | 当期 | 前期 |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2006年4月1日～ 2007年3月31日 | 2005年4月1日～ 2006年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,599 | 4,701 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △657 | △2,907 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △7,516 | △586 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △3,574 | 1,208 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,285 | 11,077 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,711 | 12,285 |

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が46億3,700万円となったことなどにより、45億9,900万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、地上デジタル化に対応するための有形固定資産の取得による支出などにより、6億5,700万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や社債の償還があったことなどにより、75億1,600万円の支出となりました。

これらの結果、当期末における現金及び現金同等物は、前年同期比29.1%減の87億1,100万円となりました。

(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書

当連結会計期間(2006年4月1日～2007年3月31日)

| 項目 | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|-------|-------|--------|------|--------|------------------|--------------|----------------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 2006年3月31日残高 | 8,910 | 8,684 | 30,336 | △0 | 47,930 | 2,039 | 1 | 2,041 | 866 | 50,838 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当(注) | | | △423 | | △423 | | | | | △423 |
| 剰余金の配当 | | | △309 | | △309 | | | | | △309 |
| 役員賞与(注) | | | △114 | | △114 | | | | | △114 |
| 当期純利益 | | | 2,440 | | 2,440 | | | | | 2,440 |
| 持分法適用関連会社の増加に伴う利益剰余金減少高 | | | △35 | | △35 | | | | | △35 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △805 | 1 | △804 | △61 | △865 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 1,557 | — | 1,557 | △805 | 1 | △804 | △61 | 691 |
| 2007年3月31日残高 | 8,910 | 8,684 | 31,893 | △0 | 49,487 | 1,233 | 3 | 1,237 | 804 | 51,529 |

(注) 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

Financial Statements

単体業績のご報告 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 単体貸借対照表 | 当期 | 前期 | | 当期 | 前期 |
|----------|------------------|------------------|----------|------------------|------------------|
| | 2007年 3月31日現在 | 2006年 3月31日現在 | | 2007年 3月31日現在 | 2006年 3月31日現在 |
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流動資産 | 43,213 | 44,747 | 流動負債 | 27,072 | 29,212 |
| 固定資産 | 32,287 | 34,232 | 固定負債 | 3,406 | 5,078 |
| 有形固定資産 | 15,903 | 15,621 | 負債合計 | 30,478 | 34,290 |
| 無形固定資産 | 1,091 | 1,454 | (純資産の部) | | |
| 投資その他の資産 | 15,293 | 17,156 | 株主資本 | 43,796 | 42,660 |
| | | | 資本金 | 8,910 | 8,910 |
| | | | 資本剰余金 | 8,684 | 8,684 |
| | | | 利益剰余金 | 26,202 | 25,066 |
| | | | 自己株式 | △0 | △0 |
| | | | 評価・換算差額等 | 1,226 | 2,028 |
| | | | 純資産合計 | 45,023 | 44,689 |
| 資産合計 | 75,501 | 78,979 | 負債純資産合計 | 75,501 | 78,979 |

(注) 前期の資本の部は「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)に合わせて純資産の部に組替表示しています。

(単位：百万円)

| 単体損益計算書 | 当期 | 前期 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2006年4月1日～ 2007年3月31日 | 2005年4月1日～ 2006年3月31日 |
| 売上高 | 111,200 | 108,365 |
| 売上原価 | 77,886 | 73,440 |
| 売上総利益 | 33,313 | 34,924 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,640 | 29,617 |
| 営業利益 | 2,673 | 5,306 |
| 営業外収益 | 965 | 770 |
| 営業外費用 | 148 | 423 |
| 経常利益 | 3,490 | 5,653 |
| 特別利益 | 59 | — |
| 特別損失 | 216 | — |
| 税引前当期純利益 | 3,333 | 5,653 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,059 | 892 |
| 法人税等調整額 | 325 | 1,353 |
| 当期純利益 | 1,948 | 3,407 |
| 前期繰越利益 | — | 2,406 |
| 中間配当額 | — | 258 |
| 当期末処分利益 | — | 5,556 |

配当状況

| | 当期 | 前期 |
|-------------|--------|--------|
| 配当金総額(年間) | 619百万円 | 681百万円 |
| 1株当たり年間配当金 | 30円00銭 | 33円00銭 |
| 中間配当 | 15円00銭 | 12円50銭 |
| 期末配当 | 15円00銭 | 20円50銭 |
| 配当性向 | 31.8% | 20.5% |
| 連結ベースでの配当性向 | 25.3% | 15.7% |

Corporate Information

会社情報 (2007年3月31日現在)

テレビ東京グループ

| 放送事業（地上波放送、国内番組販売等） | |
|---|--|
| 番組制作・放送関連業務等 | その他 |
| <p>■ 連結子会社</p> <p>(株)テレビ東京コマーシャル (CM放送の準備) (株)テレビ東京アート (美術装置・番組用照明の企画制作) (株)テレビ東京システム (システム開発) (株)テレビ東京制作 (番組の企画・制作) (株)テレビ東京ヒューマン (放送に係る人材派遣) (株)テクノマックス (技術制作) (株)テレビ東京建物 (スタジオ管理) TV TOKYO AMERICA,INC. (米国報道)</p> <p>■ 持分法適用関連会社</p> <p>(株)日経映像 (番組制作)</p> | <p>■ 連結子会社</p> <p>(株)テレビ東京メディアネット (番組販売) (株)テレビ東京ダイレクト (通信販売・広告販売) (株)エー・ティー・エックス (アニメ番組提供)</p> <p>■ 持分法適用関連会社</p> <p>(株)インタラクティブヴィ (CS委託放送) テレビ東京ブロードバンド(株)(映像コンテンツの配信・提供)</p> |

番組制作関連
業務委託等



番組販売委託・
映像コンテンツ供給等

放送事業
(地上波放送、国内番組販売、
BS放送関連等)

テレビ東京
TV TOKYO Corporation

ライツ事業
(ソフトライツ、イベント等)

音楽番組関連
業務の委託等



番組制作協力・
情報提供等



番組宣伝の広告の
掲載、情報・コン
テンツの供給等

ライツ事業 (ソフトライツ・イベント等)

■ **連結子会社**

(株)テレビ東京ミュージック
(音楽著作権の管理、イベント、音楽番組の制作等)

■ **その他の関係会社**

(株)日本経済新聞社 (新聞・出版)

株式会社 テレビ東京コマーシャル

グループ会社紹介

テレビ東京コマーシャルは、テレビ東京及びBSジャパン、テレビ東京系列局(TVO・TVA・TVh・TVQ)のCM放送準備業務、番組放送関連業務について、ノウハウと技術力をもって効率的且つ信頼性の高い業務を提供し、放送をサポートしている会社です。さらに、代理店業務の拡大、番組制作、CM制作の業務も獲得するなど着実な進展を成し遂げています。

また、テレビ東京の字幕付与番組計画に従い、リアルタイム字幕制作・放送システムを導入しテレビ東京の字幕放送拡充に努めています。また、テレビ東京系列局に対しても字幕業務受注拡大を目指しております。今後とも、放送関連業務で長年にわたって培ったノウハウをもとに受注業務拡大を構築し、戦略営業の体制強化に努めてまいります。



字幕制作の作業現場

会社概要 (2007年3月31日現在)

設立：1978年9月30日
 資本金：1,000万円
 売上高：22億7,000万円
 従業員数：128名

事業内容：テレビ東京、系列局のCM放送準備業務、番組放送関連業務、字幕付与番組制作、代理店業務、番組制作、CM制作業務

会社の概要

会社名： 株式会社 テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)
本店所在地： 〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12
URL： www.tv-tokyo.co.jp
開局： 1964年4月12日
呼出符号： JOTX-TV (アナログ12チャンネル)
JOTX-DTV (デジタル7チャンネル)
資本金： 89億1,095万円
従業員数： 連結1,274名、単体667名

主な事業所

本社・スタジオ (東京都港区)
天王洲スタジオ (東京都品川区)

支社・支局

関西支社/名古屋支社/ニューヨーク支局/ワシントン支局/
ロンドン支局/モスクワ支局/香港支局/ソウル支局/北京支局/上海支局

役員 (2007年6月22日現在)

代表取締役会長

菅谷 定彦

代表取締役社長

島田 昌幸

取締役副社長

森 廣成 秘書室、総務局、人事局、労務、関係会社担当
三澤 啓二 営業局、ネットワーク局担当 兼 BS業務推進本部長

専務取締役

箕輪 新一 経理、内部統制担当 兼 関係会社担当補佐

常務取締役

犬飼 正 技術担当
原田 利一 システム開発室長 兼 番組情報基盤整備担当
石川 博 メディア事業推進本部長
菊池 悟 編成局、ドラマ制作室担当 兼 BS業務推進本部本部長補佐
藤延 直道 制作局、報道局、スポーツ局担当

取締役

張替 正美 総務局長
神田 忠慶 ネットワーク局長
佐々木 彰 ドラマ制作室長
今泉 至明 特命事項担当
深沢 健二 経営戦略局、コンプライアンス統括室担当
高島 政明 経理局長
斎藤 史郎 株式会社日本経済新聞社 専務取締役

常勤監査役

奥川 元

監査役

出原 達夫
野村 尚宏 株式会社日本経済新聞社 常務取締役
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問
齋藤 宏 株式会社みずほコーポレート銀行 代表取締役頭取

(注) 1. 取締役 斎藤史郎氏は社外取締役です。
2. 監査役 野村尚宏、荒木浩、齋藤宏の3氏は社外監査役です。

TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の67.5%をカバーしています。

テレビ大阪株式会社

〒540-8519 大阪市中央区大手前1-2-18
www.tv-osaka.co.jp

テレビ愛知株式会社

〒460-8325 名古屋市中区大須2-4-8
www.tv-aichi.co.jp

テレビせとうち株式会社

〒700-8677 岡山市柳町2-1-1
www.webtsc.com

株式会社テレビ北海道

〒060-8517 札幌市中央区大通東6-12-4
www.tv-hokkaido.co.jp

株式会社TVQ九州放送

〒812-8570 福岡市博多区住吉2-3-1
www.tvq.co.jp



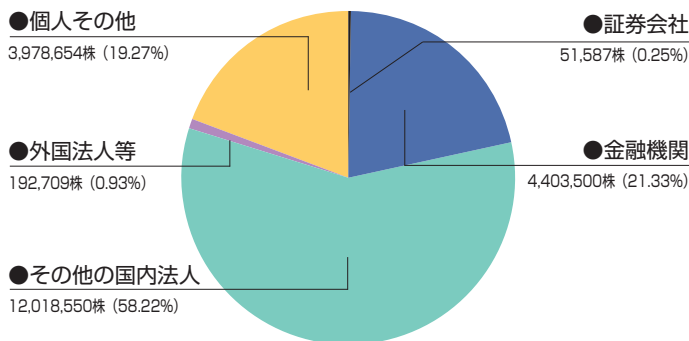
Stock Information

株式情報 (2007年3月31日現在)

株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 82,580,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,645,000株 |
| 株主数 | 3,282名 |
| 単元株式数 | 100株 |

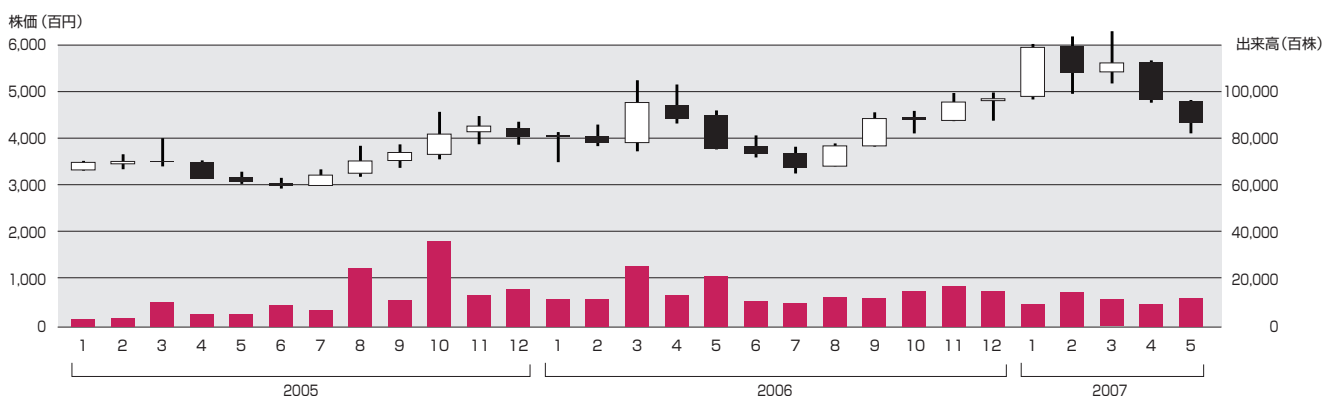
所有者別株式分布状況



株式の状況

| 株主名 | 持株数 (千株) | 所有比率 (%) |
|--|----------|----------|
| 株式会社日本経済新聞社 | 6,881 | 33.33 |
| 糸山英太郎 | 2,810 | 13.61 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,036 | 5.02 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 984 | 4.77 |
| 株式会社みずほ銀行 | 600 | 2.91 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口) | 590 | 2.86 |
| 東レ株式会社 | 518 | 2.51 |
| 株式会社毎日放送 | 518 | 2.51 |
| 三井物産株式会社 | 518 | 2.51 |
| 三菱商事株式会社 | 362 | 1.76 |

株価と売買高の推移



株主優待のお知らせ

株主の皆様にご理解いただくために、公開番組へ抽選でご招待しています。また、当社オリジナルクオカード (500円分) を謹呈しています。



毎年3月31日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「夏祭りにっぽんの歌」に抽選でご招待

毎年9月30日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「年忘れにっぽんの歌」に抽選でご招待

ホームページのご案内

番組情報をはじめ、当社が出資している映画・イベント情報など様々な情報をホームページでもご覧いただけます。



当社ホームページ
www.tv-tokyo.co.jp

IR情報のページでは、毎月の売上実績、有価証券報告書などの各種報告書を掲載しています。四半期ごとの決算説明会の様子を動画配信しています。



当社IR情報のホームページ
www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日) |
| 剰余金の配当 | 株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 |
| 中間配当 | 中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 |
| 公告掲載新聞 | 東京都において発行する日本経済新聞 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |

(郵便物送付先・
お問い合わせ先)

〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
専用ホームページの“お手続き内容”で
一部届出用紙の出力ができます。
http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

| | |
|---------|--|
| 同 取 次 所 | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店 |
|---------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 外国人等の 株主名簿への 記載制限 | 放送法に関連して、当社定款には次の規定 があります。 【定款第12条】 |
|-------------------------|---|

当会社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当会社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法第52条の8第1項及び第2項の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録することを拒むことができる。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 外国政府またはその代表者
- (3) 外国の法人または団体
- (4) 前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体



お問い合わせ先
株式会社テレビ東京 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12
Tel.(代表) 03-3432-1212



本報告書は、環境保全のため、古紙パルプ100%再生紙を使用し、「大豆油インキ」で印刷しています。